



五中だより

自主
協力
創造

令和6年10月18日 発行
新潟市立新津第五中学校

「あいさつの五中！」 「合唱の五中！」 「チャレンジの五中！」

令和6年10月11日（金）前期終業式 講話『「行いと言葉」を振り返る』

校長 松嶋 一

自らの「行い」や「言葉」が相手にどんな影響を与えるか。集団にどんな影響を与えるかということ、私たちは考えなければなりません。

それは、最終的に、自分を、さらには家族さえも巻き込んだ、取り返しのつかないことになることもあり得るからです。

私たちは普段の生活の中で、自らの行いや発する言葉がどんな影響を与えるのかを考え、実践する力を身に付けなければなりません。

たった一言が、ちょっとした行いが人を喜ばせたり、感動させたり、勇気を与えたりすることがあります。一方で、悲しませたり、苦しませたり、辛い思いをさせたりすることもあります。

人から感謝されたり、喜んでくれたりすることは、素晴らしいことであり、それは自分の喜びでもあり、前向きに生きる原動力にもなります。そんな自分でありたいと思いませんか。

「挨拶の五中。合唱の五中。チャレンジの五中。誇りに思い、体現してください。五中ファンだからにしませんか？」これは、始業式で皆さんに話した言葉です。皆さんの前期の頑張りは十分に承知しているつもりです。

5月には地域の方が皆さんの挨拶で元気づけられている話も紹介しました。間違いなく、五中ファンは増えているはずですが、自分は「挨拶」はできているだろうか。自分なりの「チャレンジ場面」はあっただろうか。

一年の折り返し点である今日、今一度、前期の自分を振り返ってみてください。そして、10月31日には、いよいよ「合唱」です。自分も学級もまた、一回り成長するチャンスです。楽しみにしています。

連休明け、フレッシュな気持ちで後期を迎えましょう。

令和6年10月15日（火）後期始業式 講話「覚悟」

校長 松嶋 一

「誰の人生だ 誰の人生だ 誰の人生だ」

back numberさんの「新しい恋人たちに」という曲の一節です。曲のもつメッセージ性や前後の詞とのつながりはいったん置かせていただくとして、妙にこのフレーズが私の心に刺さっています。

誰のものでもない自分の「人生」をどう生きるか問われているようにも感じてしまい、心の中で繰り返されています。相手が変わるのを、世の中が変わるのを、誰かがなんとかしてくれるのを待つのはやめよう。結局は、自分の人生、自分がどうするか次第だと奮い立たされるのです。

3年生、5ヶ月足らずで卒業し、誰のものでもない、あなたの新たな人生を歩み始めなければなりません。幸せな自分の人生を自分の手で切り拓く覚悟をしてください。

もしかすると、これまで生きてきた中で、最大の試練と感ずるかもしれません。スポーツの試合に例えるならば、この戦いは、個人戦ではありません。団体戦です。一丸となって立ち向かう3年生を、先生方は全力で支えます。

1・2年生は、そんな3年生の姿をしっかりと目に焼き付け、五中を引き継ぐ覚悟をしてください。今日という一日は、誰のものでもないあなたのこれからの「人生」につながっています。

体育祭大成功！

10月3日（木）体育祭を実施しました。初の10月開催ということもあり、天候等が心配されましたが、当日は、すがすがしく、最高のコンディションで体育祭を実施することができました。生徒は、スローガン「繋ぐ ～伝統・絆・想いのバトンパス～」のもと、全校が一丸となって盛り上がり、感動ある体育祭にすることができました。ご来校いただきました、ご来賓・保護者の皆様に感謝申し上げます。



市中学校新人大会・各種大会報告会

10月11日（金）前期終業式後に市中学校新人大会、各種大会の報告会・表彰を行いました。部長からの結果報告では、「大会で全力を出し切れたこと」や「今後の目標」等、次のステップに進むための決意や意気込みが伝わってきました。



【各種表彰】

- | | |
|---------------|---------------------------|
| ◎野球部 | 第20回オンヨネカップ新潟地区予選大会ブロック1位 |
| ◎男子バスケットボール部 | 第1回安田・水原Autumn CUP 3位 |
| ◎卓球部 | 秋季市民体育祭 2年女子の部 9位 |
| ◎女子ソフトテニス部 | 秋季秋葉区近郷ソフトテニス大会
3位 |
| ◎新津協議会中学校人権作文 | 優秀賞 奨励賞 |

【新潟市中学校駅伝競走大会】

男子16位、女子5位 ※ 女子は、新潟県中学校駅伝競走大会に出場

合唱練習開始！

合唱コンクールに向け、昼休み・終学活で合唱練習が始まりました。

